

第19回中国四国地区トランポリン競技選手権 開催要項

- 主催 第19回中国四国地区トランポリン競技選手権実行委員会
主管 鳥取県体操協会トランポリン
会場 米子市皆生市民プールのトレーニングホール
(鳥取県米子市皆生温泉3丁目18-3 TEL 0859-34-6750)
- 期日 令和7年4月26日(土) 各団体割当練習、開会式、M・PCクラス個人競技
令和7年4月27日(日) A・B・Cクラス個人競技、シンクロ競技
- 主旨 本大会を通じ、中四国地区におけるトランポリン競技関係者間の交流を深め、競技選手普及・育成、競技レベル向上のきっかけとする。
- 参加資格 中四国地区においてトランポリン競技を行っている者で、コーチ・指導者が出場レベルにあると認めた者。日本体操協会登録の有無は問わない。
- 使用器具 FIG 認定器具ユーロトランポリン(4mm×4mmテープベッド)2台
FIG 公認 HDTS オールインワン測定器
- 競技運営
- 競技規則 中国・四国地区トランポリン競技選手権競技規則2024版による。
上記規則の他、定めのないものについては、日本体操協会トランポリン採点規則2022-2024年版により採点。(19回大会では2025-2028年版は採用しない)
 - カテゴリ クラス別男女個人競技(年齢、学年は令和7年12月31日を基準とする)
 - ・Aクラス 第1自由演技・第2自由演技 年齢制限なし
 - ・Bクラス 第1自由演技・第2自由演技 年齢制限なし
 - ・Cクラス 規定演技・自由演技 小学生以下
 - ・Pre Cクラス 自由演技2本 小学3年生以下
 - ・Mクラス 自由演技2本 30歳以上シンクロ競技
 - ・自由演技1本(個人競技にエントリーしていない者の参加不可)
 - ・パートナーの所属・年齢・性別等は不問
 - 採点方法 個人競技
日本体操協会制定トランポリン採点規則に準じ、本競技会独自の規則により採点を行う。
シンクロ競技(エキシビジョン特別ルール)
演技点+同時性+移動点のみで採点を行う。ただし、同点の場合の序列判断は演技点の上位とする。
HDTS 測定器不具合時の対応
Tスコアは簡易測定器(Veriflite)を同時使用し補完

➤ 表彰	個人競技	各クラス男女別 1～3 位	メダル又は楯
		各クラス男女別 1～6 位	賞状
	最高演技点	男女ごとの最高演技点	楯並びに賞状
	シンクロ競技	1～3 位	賞状

参加費 個人競技 3,500 円／1 名
シンクロ競技 1,000 円／1 チーム (500 円/1 名×2)
振込先： 山陰合同銀行 境西出張所(普通) 3627610
鳥取県トランポリン協会 会計 アカシ カオリ

*依頼人名はクラブ名とする。

県負担費 15,000 円／県
*負担費は、個人競技とは別に「県名 実行委員名」で振り込むこと。
*振込先は「参加費」と同じ。

審判派遣 別紙「審判割当表」により、各県から審判の派遣。
*審判派遣状況に応じて、規定の日当をお支払いいたします。

申込方法 鳥取県体操協会トランポリンホームページ (<http://tottori-tramp.lar.jp/>) から申込用紙をダウンロードし、メールにて送付。

送付先：tta@tottori-tramp.lar.jp 長澤あて

個人競技、シンクロ申込み = 件名に「19 中四国選手権申込」と記入

申込締切 申込書送付ならびに参加費振込期限 令和7年3月16日(日)

その他 競技会運営、体育館利用についての注意事項があります。
下記「注意事項」を必ずお読みください。
*体育館利用にあたり、注意事項が追加となることがあります。

競技結果の紙面貼り出しはしません。競技終了後、(システムトラブルがなければ) 15 分程度で TTA ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

○体育館の利用について

- * 体育館への出入りは、本館 1 階出入口を使用ください。2 階観客席へは上履きに履き替えてください。(別紙体育館配置図)
- * アリーナのトイレは選手・役員専用とします。その他の方は、本館 1 階のトイレを使用してください。(別紙体育館配置図)
- * アリーナ内競技スペースには、競技・アップの時間に該当する選手、監督、コーチ、スポッターのみとしてください。(ウォーミングアップなどに選手が付き添う場合は、2 名までとします)
- * 体操用 (ウォーミングアップ用) マットはありますが、各自ヨガマットの使用をお勧めします。
- * アリーナ内での飲食はできません。指定の場所をご利用ください。(水分補給のみ可能)

○競技運営について

* 競技進行

招集 (前グループ開始後、ウォーミングアップエリアで点呼します)

⇒前グループ終了後、選手席に整列し、審判に挨拶

⇒試技前アップ開始 (台の取り合い等でトラブルにならないよう注意してください)

試技前アップ = 1 本あたり 40 秒以内になるよう配慮してください

・ PC クラス・M クラス 3 本

・ C クラス 2 本 (グループの人数/2×80 秒)

・ A クラス・B クラス グループの人数/2×120 秒 (3 本確約)

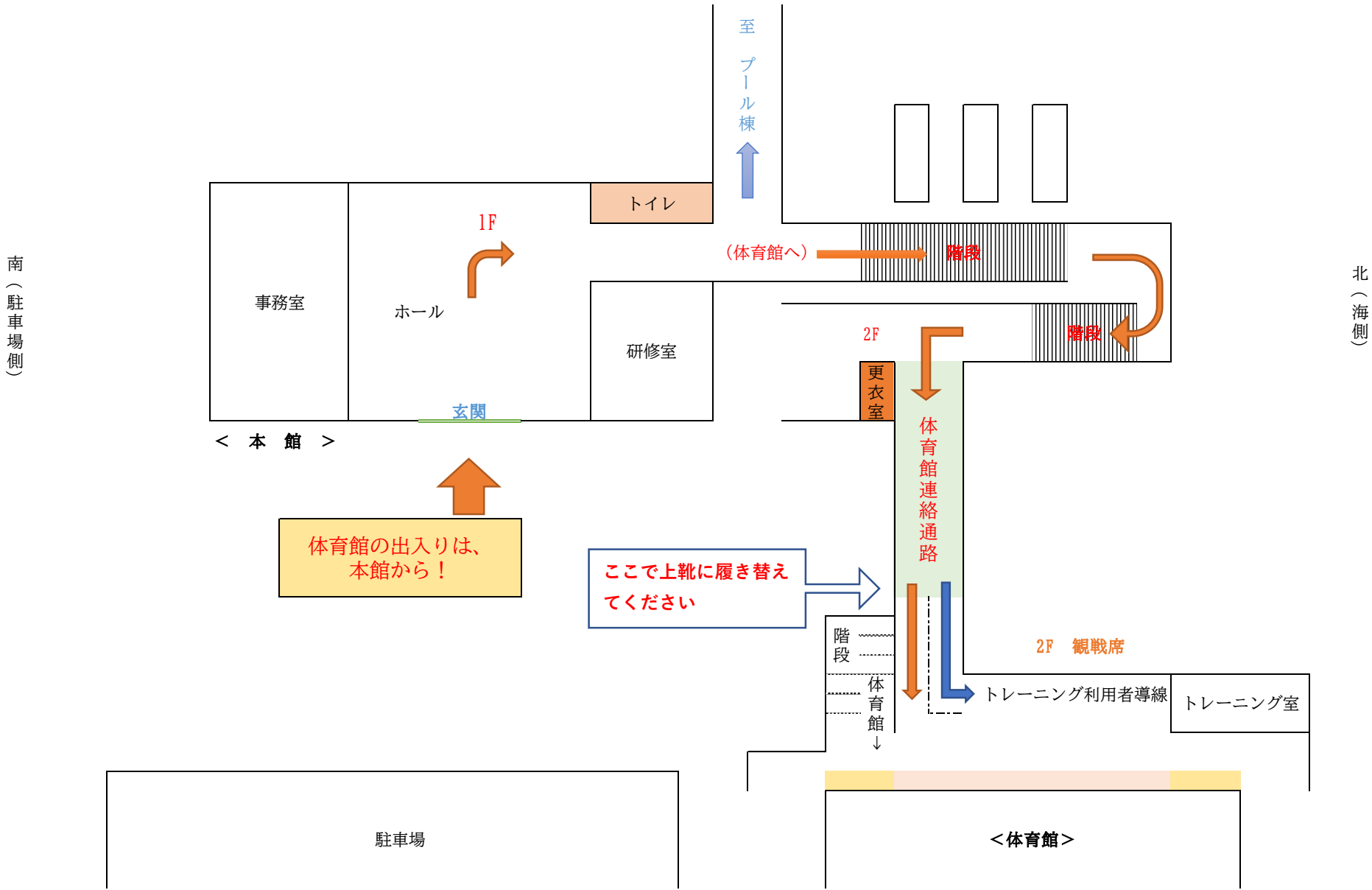
* 最新版の規則を熟読し、選手の不利にならないようご配慮ください。

* 撮影は、選手の競技力向上のみを目的としてください。

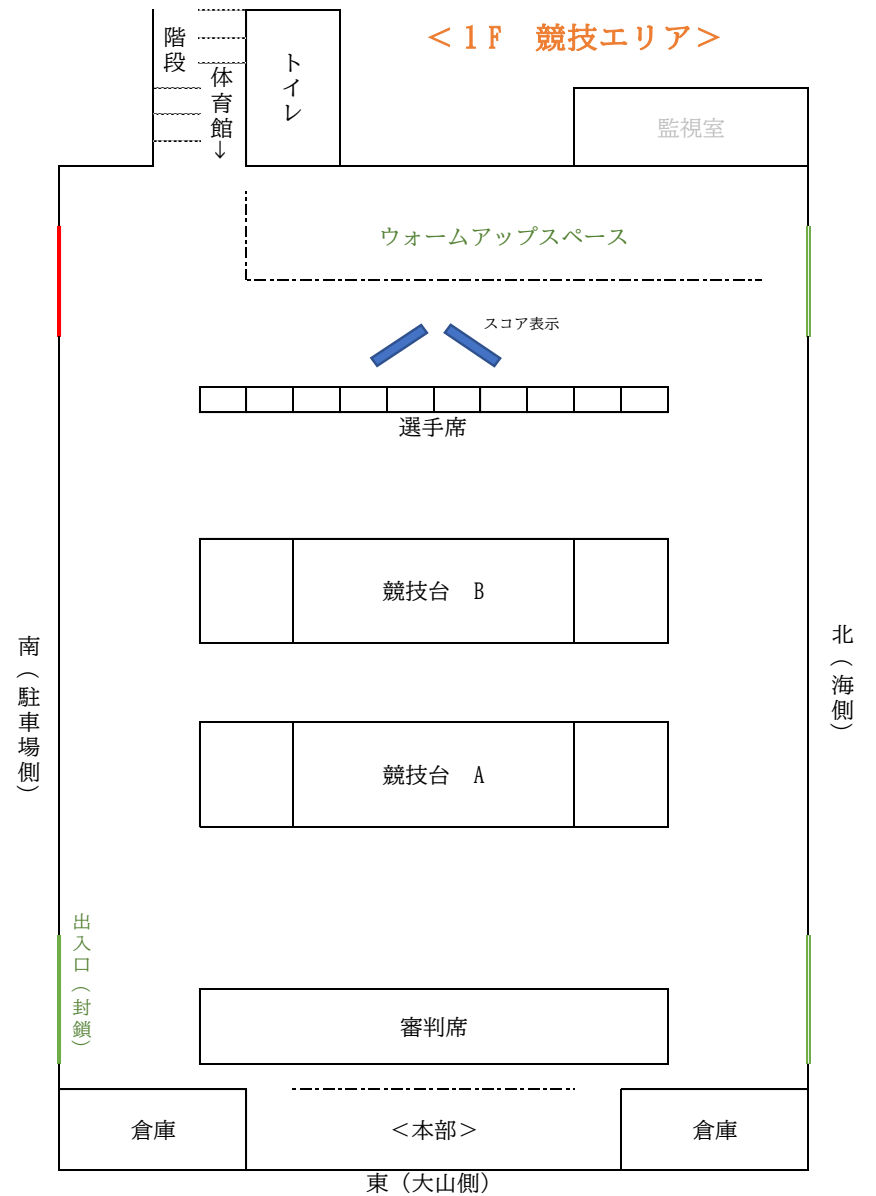
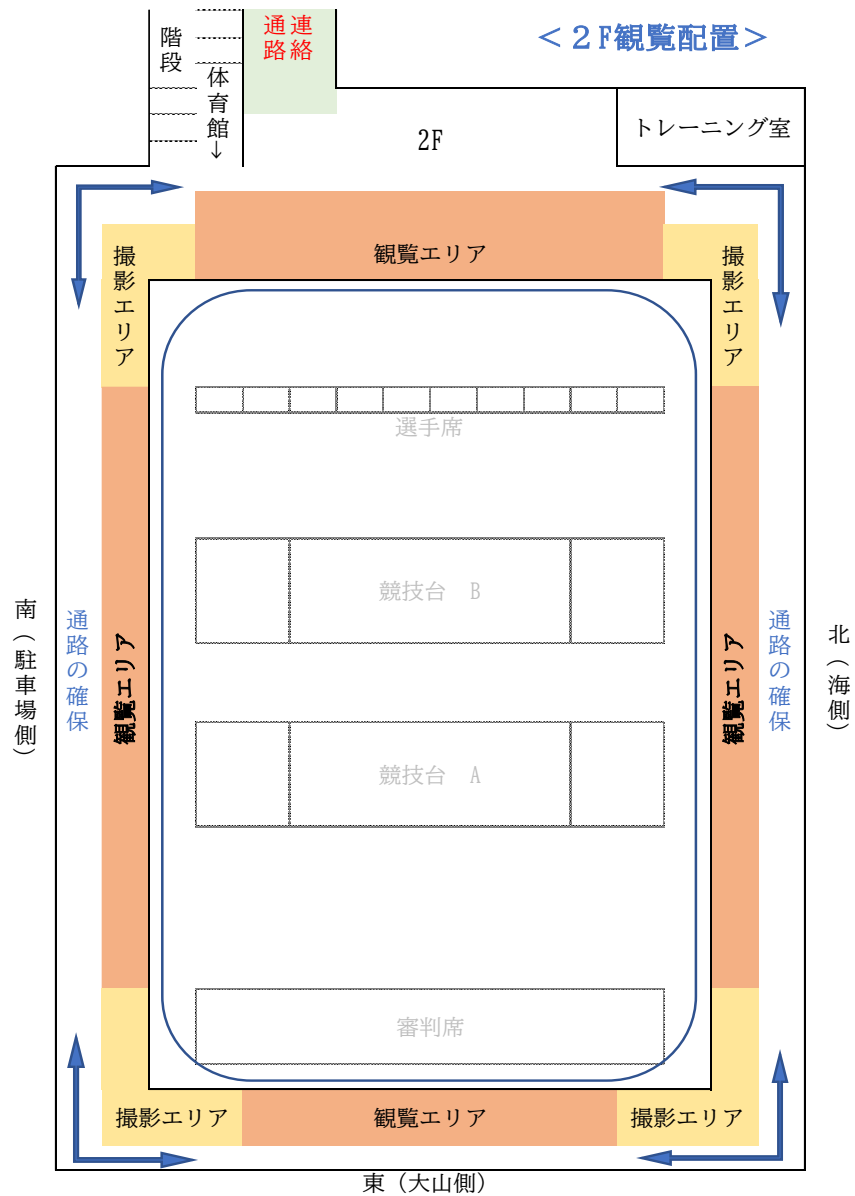
(観客席の混雑を防ぐため、三脚を使用した撮影は、「撮影エリア」で行ってください。)

* 当日は傷害保険に加入いたしますが、各クラブまたは個人で個別に加入していただくことをお勧めします。

体育館配置図



●選手招集は「ウォームアップエリア」で行います。前グループが試技を開始する前に参集してください。



競 技 日 程 (案)

	4月26日(土)	4月27日(日)
8:30		
9:00	会場準備	
9:30		
10:00		
10:30		
11:00		
11:30		個人競技 (C、B、A 男女)
12:00		
12:30	割当練習	
13:00		
13:30		
14:00		
14:30		
15:00	開会式	
15:30	準備	シンクロ競技
16:00		閉会式
16:30	個人競技 (PC男女)	
17:00		
17:30	個人競技 (M男女)	
18:00		
18:30	シンクロ練習	
19:00		

* 暫定的な日程となっています。

* 参加人数により変更の可能性があります。

中国四国地区トランポリン競技選手権 競技規則（2024年度改訂版）

各クラス共通規則

- すべてのカテゴリで行う演技について、「膝落ち」は禁止。「膝落ち」を行った場合は中断とし、前の種目までの採点とする。
- すべてのカテゴリで行う演技について、難度を伴う種目の繰り返しを行った場合は、後に行った種目の難度点を0点とする。（事前に提出された構成表に記入されている場合は訂正）
- 年齢基準、学年基準は、競技会が行われる年の12月31日現在とする。

クラス別競技規則

【A クラス 男女】

参加資格 年齢制限なし

競技方法 第1自由演技と第2自由演技の合計点を得点とする。

詳細

● 第1自由演技

- ① 「演技点」「移動点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+T)
- ② 10種類の異なる種目で構成すること。
- ③ 種目の順番は自由とする。
- ④ 特別要求種目
 - 1) 360°以上の回転を伴う種目を前方・後方共1種目以上行うこと。

● 第2自由演技

- ① 「演技点」「移動点」「難度点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+D+T)
- ② 難度点の下限・上限は求めない。

【B クラス 男女】

参加資格 年齢制限なし

競技方法 第1自由演技と第2自由演技の合計点を得点とする。

詳細

● 第1自由演技

- ① 「演技点」「移動点」「難度点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+D+T)
- ② 難度点の上限を2.5点とする。(下限は設けない)
- ③ 特別要求種目
 - 1) 腹落ちを伴う種目、背落ちを伴う種目をそれぞれ1種目以上行うこと。
 - 2) 270°(3/4回転)以上の回転を伴う種目を1種目以上行うこと。
 - * 一つの種目で特別要求種目の1)、2)両方を満たすことができる。
 - * 演技終了後特別要求種目が行われなかった場合、決定点から2.0点を減ずる

● 第2自由演技

- ① 「演技点」「移動点」「難度点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+D+T)
- ② 難度点の上限を4.0点とする。

【C クラス 男女】

参加資格 年齢制限 = 小学6年生以下

競技方法 規定演技と自由演技の合計点を得点とする。

詳細

● 規定演技

- ① 「演技点」「移動点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+T)
- ② 規定された種目と異なる種目を行った場合は、前の種目までの合計点とする。
- ③ 姿勢を表記していない種目の姿勢は自由とする。

<C クラス規定演技構成表>

	種目	姿勢
1	フルシート	
2	スイブルヒップス	
3	ハーフスタンド	
4	ストラドルジャンプ	
5	ハーフフロント	
6	スタンド	
7	パイクジャンプ	
8	シートドロップ	
9	ローラー	
10	スタンド	

0.9

● 自由演技

- ① 「演技点」「移動点」「難度点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+D+T)
- ② 難度点の上限を 2.0 点とする。

【Pre C クラス】(2023 年より新設)

参加資格 年齢制限 = 小学3年生以下

競技方法 演技構成は自由とし、同じ構成の演技を2本行い、得点の高い方を採用する。

詳細

- 「演技点」「移動点」「難度点」の合計で採点。(E+H+D) *跳躍点は採用しない。
 - 構成表と違う種目を行った場合は、中断とする。
 - 難度点の上限を 0.9 点とし、1 種目あたりの難度点の上限を 0.3 点とする。(上限を超えた場合は失格とする)
 - 特別要求種目
 - 1) 180° 以上のひねりを伴うドロップ系種目を1本以上行うこと。
 - 2) 腹または背で着床する種目を1本以上行うこと。
 - 3) ハーフピルエットまたはフルピルエットを行うこと。
- * 一つの種目で 1) と 2) を兼ねることはできない。

【M クラス 男女】

参加資格 年齢制限 = 30 歳以上

競技方法 自由演技を 2 本行い、合計点を得点とする。

詳 細

- 特別要求種目なし。
- 「演技点」「移動点」「難度点」「跳躍点」の合計で採点。(E+H+D+T)

【シンクロ競技（エキシビジョン）】 年齢区分・男女の制限なし

参加資格 クラス別個人競技に出場していること。

ペアの年齢、所属、男女の制限はなし。

競技方法 自由演技を 1 本行う。

詳 細

- 「演技点」「移動点」「同時性」の合計で採点。(E+H+S) * 跳躍点・難度点は採用しない。

【その他】

上記に定められていない事項は、競技会ごとに実行委員会で定められた規則を採用することとする。

(採点基準などは、原則日本体操協会トランポリン委員会規定の競技規則に準じて行う)